

せんだいスクール・オブ・デザイン

実施機関：東北大学（総括責任者：里見 進）

実施期間：平成 22～26 年度

プロジェクトの概要

この取組では、地域に隠れた価値を新たな角度から発掘し、クリエイティブ・クラスタとの共同プロジェクトを通じて、その価値を育て、地域の活性化を図りうるコラボレーティブなクリエイタおよびプロデューサを養成する。養成の対象となるのは、建築設計、アーバンデザイン、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、映像、音楽、ICT システム開発者、各種先端テクノロジーに関わる独立系エンジニアなど、いわゆるクリエイタおよびそれらをめざす学生である。切実な地域の課題から起こしたプロジェクトに、業務経験を持つクリエイタと学術的知識をもった大学院生を混成チームとしてコミットさせ、プロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）を通じて上記の目標を満たす人材を養成するプロジェクト駆動型デザイン教育を実施する。これらプロジェクトとあわせてクリエイタと地域企業、学生の活動交流拠点を整備し、多彩なワークショップで技術を鍛えるとともに交流を深め、出版やイベントで成果を広く共有する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	人材養成手法の妥当性	実施体制・自治体等との連携	人材養成ユニットの有効性	継続性・発展性の見通し	中間評価の反映
S	s	s	a	a	a	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

本プロジェクトは、デザインを通じて地域課題を発掘し、地元へ解決方法を提案するための人材育成であり、先進的な取組である。取組開始直後の東日本大震災被災にもかかわらず、大学と地域がそれぞれの役割を分担しながら適切な連携の下で進められ、目標を大きく上回る養成修了者数を達成するとともに、国内外の著名な賞を受賞するなど充実した成果を上げたことは高く評価できる。今後は、事業を継続展開しながら地域再生に寄与する人材育成のモデルとなるとともに、仙台から世界に発信するデザイン拠点となることを期待する。

- ・ **目標達成度**：震災による中断があったものの、養成修了者数 343 名（目標 135 名）、プロジェクト着手累計 48 件（目標 25 件）、ワークショップ実施 47 回（目標 30 回）といずれも目標を大きく超え達成したこと、実践的なプロジェクト駆動型デザイン教育を行うとともに、具体的な成果のアウトリーチ活動を積極的に実施したことは高く評価できる。
- ・ **人材養成手法の妥当性**：異文化・異分野との融合を目指し、多彩な講師陣を組成した実践的プロジェクト駆動型デザイン教育は人材養成手法としてユニークであり、高く評価できる。また、受講者に女性や熟年者の比率が高く、地域の活力が包括的に取込まれたことは評価できる。
- ・ **実施体制・自治体等との連携**：自治体からの課題発掘、デザインを通じた自治体へ課題解決

方法の提案等により自治体の施策とのきめ細かい連携ができているものと評価できる。今後は、集中的な投資を加速することなどにより、地元クリエイティブ産業を育てることを期待する。

・**人材養成ユニットの有効性**：学生受講生の地元定着については課題があるものの、修了生が仙台市に関わるコンソーシアムのプロデューサー職に継続的に採用されて活躍しているほか、国内外の著名な賞を受賞するなど多くの成果が示され、他地域に対する波及効果も大きいことから、本人材養成ユニットは有効であると評価できる。

・**継続性・発展性**の見通し：本人材養成ユニットで確立した方法を展開し、東北大学内に「デザインセンター」が設置されることは継続性を確保するものとして評価できる。今後は、地元自治体の財政的支援を得るとともに学内予算及び専任教員の確保に努めること、学生受講生の取込みと修了後の地元定着を図り地域社会とのコラボレーション活動を発展させていくことを期待する。

・**中間評価の反映**：成果を広く世界に発信するとともに、デザイン教育を地域特性に適合させながら実践するなど、中間評価での指摘に適切に対応している。